

分 野	授 業 科 目	単 位 (時 間)	進 度	担 当
専門基礎分野	公衆衛生学	1 (1 5)	2 年前期	原田 幸一 実務経験あり
科 目 目 的	地域・学校・職場さらに地球環境における人集団の健康の保持・増進のための組織的な保健活動を理解し説明できる。			
科 目 目 標	1. 公衆衛生学の概念と基本的な理念等を理解する。 2. 健康が環境や生活習慣等と深く関連していること等を理解する。 3. 各種制度の現状と課題、今後の方向等について理解する。			
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	留意点
序章) 公衆衛生を学ぶにあたって	みんなの健康、看護をみんなで守ること等を講義する。			
第1章. 公衆衛生のエッセンス	健康の定義、公衆衛生の歴史、公衆衛生を看護に取り込む力等を講義する。	2		
第2章. 公衆衛生の活動対象	公衆衛生活動と対象社会集団の関係等を講義する。			
第3章. 公衆衛生のしくみ	公衆衛生関連する法規、行政組織、専門職そして住民等について講義する。	2		
第4章. 集団の健康をとらえるための手法	人集団の健康を科学する手法である疫学・保健統計等を講義する。			
第5章. 環境と健康	地球環境と健康、生活環境と健康、環境行政等を講義する。	2		
第6章. 感染症とその予防対策	感染症予防対策、院内感染症、重要な感染症等を講義する。	2	講義	公衆衛生学の概念や基本的事項を理解し、人集団における健康の保持増進や社会福祉のあり方を説明できると、また、これらのことについて公衆衛生学的視点から自分の意見や見解を併せ持つことに留意すること。
第7章. 国際保健	健康格差、国際共通目標、日本の関わり等を講義する。			
第8章. 地域における公衆衛生の実践	公衆衛生看護、母子保健、成人保健、高齢者保健等を講義する。 精神保健、歯科保健、障害者保健、難病保健等を講義する。	2		
第9章. 学校と健康	学校保健、養護教諭等を講義する。	2		
第10章. 職場と健康	労働安全衛生法、職場の健康管理、産業保健の課題等を講義する。	2		
第11章. 健康危機管理・災害保健	健康危機管理、災害保健等を講義する。			
まとめと試験		1		
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「公衆衛生」(医学書院)			
評 価 方 法	筆記試験 100 点で評価する			